

2022-2023年度 会長方針

「繋がりがからより良い未来へ」

2022-2023年度 小牧ロータリークラブ会長を拝命しました。社本寿美男です。本年度、小牧ロータリークラブは創立55周年を迎えます。幾多の困難を乗り越えて先輩諸兄が築き上げてきた輝かしい歴史を誇りに、昨今の急激な社会変化に対応し、今一度足元を固め、更なる発展と飛躍の年になる様に精一杯取り組んでいきます。

【重点項目】

1. 例会の充実と会員同士の繋がりの強化

昨今、コロナ禍で例会開催様式もスクール形式での着座や、時短開催により会員同士の親睦が減少し、緊急事態宣言下では例会中止も続き、例会に出席する事も億劫になってしまいます。また仕事が多忙な会員においては、昼間に例会へ出席するだけで精一杯で、閉会と同時に仕事に戻らなければなりません。

例会は最も重要なロータリー活動であって「楽しみながら修練を積む」場でなければなりません。また例会後も他愛もない雑談など、会員同士の親睦に重要な時間だと考えます。そこで本年度は例会の卓話や研修内容を充実し、夜間例会を開催するなど会員同士の繋がりの強化を行います。

2. 奉仕活動の実施と広報による公共イメージの向上

奉仕活動はロータリークラブの神髄です。奉仕活動を実施することで、多くの学びや会員同士の親睦はもちろん、地域社会との繋がりが育まれます。本年度も地区補助金事業、地域社会活動への参画により、地域にとって身近な存在となるよう広報活動を積極的に行います。

3. 計画的なクラブ運営と会員の増強

例会や事業の延期や中止により、近年では計画通りにクラブ運営ができておりません。当然のように会員数も減少傾向です。会員が減少することによりクラブの活気もなくなり、また次の担い手がいないなどの支障が出てきます。そういった上で会員増強は優先課題だと考えます。そこで本年度は年間の活動計画はもちろん、会員増強の数値目標を明確にクラブ会員に周知し、運営と活動を行います。

最後に本年度国際ロータリー、ジェニファーE、ジョーンズ会長の今年のテーマは「イマジン ロータリー」です。又、会長の挨拶の一説に（昨日のことをイマジン（想像）する人はいません。それは未来を描くことです。）という言葉があります。会員の皆様と共により良い未来を想像し実現に向けて一歩ずつ進んでいきましょう。一年間よろしくお願ひいたします。